

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科における転入学取扱要領

令和4年9月2日
教育担当理事裁定

(趣旨)

第1条 この要領は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第50条に規定する奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）への転入学に関し、必要な事項を定める。

(適用範囲)

第2条 転入学の志願者に対する選考及び決定方法等については、学則に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

(転入学資格)

第3条 本学先端科学技術研究科（以下「研究科」という。）に転入学できる者は、学則第32条に規定する在学年限から転入学前の現に在学している大学院の在学期間を差し引いた期間内に、本学博士前期課程又は博士後期課程を修了する見込みがあると研究科において認めたとする。

(転入学の時期)

第4条 転入学の時期は、学期の始めとする。ただし、特別の事情があると研究科長が認めた場合は、この限りでない。

(出願)

第5条 本学に転入学を志願する者（以下「志願者」という。）は、博士前期課程にあつては転入学を希望する学期の始めの直前にある博士前期課程入試開始日の4週前の水曜日までに、博士後期課程にあつては転入学を希望する学期の始めの直前にある博士後期課程入試開始日の4週前の水曜日までに、次に掲げる書類に所定の検定料を添えて研究科長に願出するものとする。

- (1) 転入学願書（別紙様式第1号）
- (2) 転入学理由書（別紙様式第2号）
- (3) 現に在籍する大学院の所属長による受験承諾書
- (4) 現に在籍する大学院の成績証明書

2 志願者は、前項各号に掲げる書類のほか、TOEIC等のスコアその他の英語検定の点数が記載された証明書で出願時の一般選抜に

係る募集要項で定めるものを提出することができる。

(転入学者選考の実施)

第6条 転入学者選考は、志願者が転入学を願い出た試験区分において、一般選抜の選抜方法に準じて実施する。この場合において、口頭試問等の具体的な内容については、試験区分ごとに異にすることを妨げない。

2 転入学者選考の実施日程は、転入学の時期に応じて、一般選抜の入学者選抜実施日程に準じたものとする。ただし、特別の事情があると研究科長が認めた場合は、この限りでない。

(合格者の決定)

第7条 転入学者選考における合格者の決定は、教授会の議を経て、学長が行う。

(既修得単位及び在学期間の認定)

第8条 転入学を許可する場合における既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、学則第50条第2項の規定に基づき、教授会の議を経て、研究科長が行う。

(在学年限等)

第9条 転入学後の在学期間は、前条により認定された在学期間と合算して、博士前期課程にあつては4年を、博士後期課程にあつては6年を超えることができない。

2 転入学後の休学期間は、転入学前に在学していた大学院における休学期間と合算して、博士前期課程又は博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。

(検定料、入学料及び授業料の額)

第10条 転入学にかかる検定料、入学料及び授業料の額は、学則第54条の定めるところによる。

(雑則)

第11条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、領域ごとに定める。

附 則

この要領は、令和4年10月1日から施行する。

別紙様式第1号（第5条関係）

転入学願書

| | | | | |
|------------------------------|--|------|--------|--------|
| 課程区分 | 博士前期課程 ・ 博士後期課程 | | | |
| 試験区分 | 情報科学区分 / バイオサイエンス区分 / 物質創成科学区分 出願を希望する試験区分を○で囲んでください。 | | | |
| 受入予定 教員 | (受入予定教員の署名) | | | |
| 転入学時期 | 年（春学期 ・ 秋学期） | | | |
| ふりがな | | | | |
| 氏名 | (男 ・ 女) | | | |
| 生年月日 | 西暦 | 年 | 月 日生 | |
| 現住所 | 〒 | 電話 | — — | |
| | | 携帯電話 | — — | |
| (都道府県から記入してください。) E-mail () | | | | |
| 連絡先 (実家等) | 〒 | 電話 | — — | |
| | (都道府県から記入してください。) | | | |
| (西暦で記入してください。) 履 歴 | | | | |
| 学 歴 (注1) | 年 月 | 入学～ | 年 月 卒業 | (所在地) |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| 職 歴 | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| | 年 月 | ～ | 年 月 | |
| 賞罰 | 年 | 月 | | |

写真貼付欄

縦 38 mm × 横 30 mm

無帽上半身、正面向
きで、出願前3か月
以内に撮影したもの

注1. 学歴は高等学校入学から記入し、現在在学中の大学院の在学期間も記入すること（ただし、外国人出願者は小学校入学から記入すること。）。

注2. 履歴に虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

別紙様式第2号（第5条関係）

転入学理由書

氏名

| | |
|------------|--|
| 転入学を希望する理由 | |
| 転入学後の研究テーマ | |
| 研究業績 | |